

北海道議会議員 札幌市中央区

# ひがき尚子

みんなでつなごう 明るい未来

## ごあいさつ

この度の新型コロナウイルスに不幸にして遭遇し、お亡くなりになられた方々へ衷心より哀悼の誠を捧げますとともに、ご遺族皆様に謹んでお悔やみを申し上げます。

今や世界中を席卷しつつあるこのウイルスは、社会生活はじめ教育や経済産業のあらゆる分野で計り知れない損害を発生させるなど、私たちの暮らしに多大なる変化と苦痛をもたらし続けています。

2月末、鈴木知事は「緊急事態宣言」を発出、他県に先駆けて学校休業や外出自粛などの施策を打ち出し第一波を抑え込み、4月に入り第二波襲来に見舞われましたが、市民皆さまはじめ広範な事業所の方々の深いご理解と弛まぬご協力のもと危機を乗り越え今日に至りました。今次、感染症対策の推進に当たって、国民の協力に委ねるばかりでなく「自粛要請と補償」セット論に代表されますように現行法制度の限界や問題点なども露呈したところですが、このような実情を受け止め、微力ながら今後の活動を通じて制度の充実に努めてまいりたいと思います。

また、医療従事者の方々や行政の皆様の献身的なご努力に、深く敬意を表しますとともに、提起されました諸課題の解決に向け努めてまいりたい決意です。

さて、北の街は”夏”真っ盛り！毎年、大通公園を舞台に季節を彩る様々なイベントたち—今年、札幌の風物詩を楽しむことは叶いません。

今こそ市民みなさんともどもに、鈴木直道知事が提唱する「新北海道スタイル」の実践に努め明るい未来につなごうではありませんか。

北海道議会議員

檜垣 尚子

## “新エネ活用・省エネ実現”の新庁舎です

69年の歴史に幕を閉じた旧庁舎西隣に今春、道議会議事堂新庁舎が竣工しました。

建設にあたっては、道産木材をふんだんに取り入れるとともに、太陽光発電などの最先端技術を結集した新エネ技術を導入し省エネに努めた結果、同規模標準的建物に比べエネルギー消費量約50%削減を実現しました。また、議員席や傍聴席の車いす利用はじめ多目的トイレや手すり設置・段差解消を進め、誰もが使いやすく分かりやすい開放型庁舎となっているほか、道民ホールと食堂は受付を通さず、誰もが自由に利用できるのも大きな特徴です。



# 予算特別委員会第1分科会質疑要旨

令和2年第一回定例会は2月27日開会しました。しかし新型コロナウイルス感染者発生により翌28日鈴木知事が「新型コロナウイルス緊急事態宣言」を発出し3月10日迄休会、11日本会議再開し代表・一般質問が12日迄、17日から23日にかけて予算特別委員会第1分科会が開かれ、私は総務部が所管する次の項目について質問いたしました。

## 豊かな自然・固有の歴史・優れた芸術文化を次代に！

知事公邸のあり方について…北海道環境緑地保護地区に指定され札幌中心部の緑豊かな知事公邸区域内には、知事及び副知事公邸や道警本部長宿舎など老朽化が進む既存の建物5棟のほか、国の有形文化財に登録され歴史的価値の高い知事公館や札幌市出身の画家、三岸好太郎美術館を擁し、西隣には道立近代美術館を配するなど歴史・芸術・自然が融合した魅力豊かなエリアを形成し、市民・道民の憩いの場として広く親しまれていることから、公邸建設計画立案に際し「一体的整備や街並み景観配慮について」、更に「将来を見据えた知事公邸のあり方について」どのように検討を進めるのか尋ねました。

総務部長から…知事公邸や他の公邸含め周辺環境に十分配慮し整備することを基本に検討する一長い歴史の中で築きあげ大切に守られてきたことを踏まえ、50年先がどうあるべきか将来像を見据え確実に引き継ぐ観点に立ち考えていくべきもの一有識者による検討会議を設置し道議会や道民の様々な意見を伺い検討してまいりたい旨の答弁がありました。



## 真冬の大災害に遭遇したならば

防災対策では…避難所運営に関する道のマニュアルや国のガイドラインでは、この度の新型コロナウイルスはもとより季節型インフルエンザなど感染症大流行を想定したものではありません。そこで現状認識と対応について伺いました。また道民にとっての冬の暮らしは厳しいものであると同時に、重要な観光資源であり今や内外から多くの入込客で賑わいますが、厳寒期災害を想定した防災対策の取組みについて尋ねました。

危機対策局長から…現行避難所マニュアルに今回のコロナウイルス緊急事態を想定した具体的対応の記述はないので国や関係部局などと相談協議し避難所マニュアル見直しを検討する。

危機管理官から…厳冬期には、停電時の暖房や防寒具など寒冷から命を守る複合的備えの必要性又密集空間で感染症対策の配慮等改めて認識した。必要資機材の整備や大規模災害を想定した訓練実践に努めるとともに防災計画やマニュアルの不断の見直しを大切と認識する旨の答弁がありました。

このほか「道の組織体制及び職員が働きやすい職場環境について」と併せ4項目について質問したところです。

# 文教委員会質疑要旨

## みんなで進めよう情報・意識の共有

4月7日国の「緊急事態宣言」発出を受けて、鈴木直道知事は「緊急事態措置」をまとめ諸対策が打ち出されました。特に学校の臨時休業が5月末迄延長となったことから、休業長期化による子供たちの心や体の健康及び学習の遅れなど様々な影響が強く懸念されました。そのため毎月の文教委員会審議において、私は「新型コロナウイルス感染症への対応」を重点に質問、3ヵ月振りに学校が再開された6月2日の委員会では 地域の感染レベルと取り組み 授業時数の時確保 小・中学校の修学旅行 地方大会の開催 今後の取り組みの5項目に亘って質問いたしました。このうち授業時数確保については児童生徒の過度な負担とならないよう配慮す

# 一般質問質疑要旨

令和2年第2回道議会定例会は7月3日閉会しました。

6月22日の本会議において、私は自民党・道民会議の一員として質問に立ち「新型コロナウイルス感染症対策、津波被害の減災目標、障がい者の学びの支援、拉致問題」の4項目にわたり、知事及び教育長の見解をただしました。



## 道立高校入試 5教科の出題範囲が縮小に

新型コロナウイルス感染症対策について、海外メディアでは本道の第二波対策に苦慮などの報道も見られ、終息後、一度定着した否定的イメージの払拭は容易ではない。本感染症に関する海外向け情報発信は、どのように取組む考えか。又、就労や留学目的で滞在中の外国人の中には、生活・就労などに関わって様々な困難に直面している方々も多いと聞けが、どのように支援していく考えか尋ねました。

鈴木知事から「感染症に関する様々な情報発信」について、多言語に対応した道のホームページや海外事務所のSNSなどの活用に加え、多くの国や地域とのネットワーク活用や「HOKKAIDO LOVE!」プロジェクトなども通じて海外発信に努める。「感染防止の取組みや生活・就労等の支援策」について、ホームページを通じて多言語による情報発信を行うとともに外国人相談センターを通じた個別相談を行っている。今後は道内各地で移動相談会開催や市町村・教育機関・国際交流団体とも連携を密にし、きめ細かな対応に努める旨、答弁がありました。



休校長期化に伴う高校入試について、高校入試を控えた受験生や保護者からこれまでの入試の考え方では大きなハンデが生じるとの声も聞こえる。入試は学習成果の公平公正な把握を目的とする原則に立ち、その出題範囲はどのように考えるか尋ねたところ、

小玉教育長から「文科省通知や各地域の学習状況等を踏まえ特定の受験者が不利にならないよう適切な出題範囲等について検討を行う」旨の答弁でしたが、7月10日、道教育委員会は来年三月に予定する道立高校入試について、国語、数学、社会、理科、英語の全5教科の出題範囲を従来より縮めると発表がありました。

## 財政措置を国へ要望

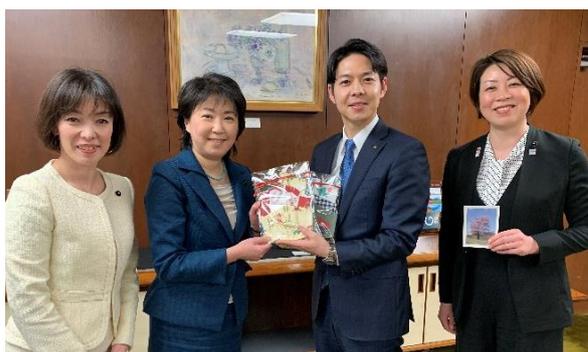
津波被害の減災目標について、国は、日本海溝・千島海溝付近で発生が予想される巨大地震による津波が20mを超える可能性との検討結果を公表し、今年度中にも被害想定や防災対策などを取りまとめる予定と聞く。道においても太平洋、日本海、オホーツク海の被害想定とその対策や目標を定める減災目標を策定すると承知する。特に太平洋岸は早急な対応が必要と思われるが、知事の所見を尋ねたところ、

鈴木知事からは…「南海トラフ地震特別措置法と同等の財政措置を国に強く要望するとともに、被害想定や対策を検討する基礎となる津波浸水想定の設定を進め、着手条件が整った個所から順次、減災目標の策定作業を進める」旨、答弁がありました。

→るとともに地域や学校実情を踏まえた時間割編成の工夫や長期休業期間(夏・冬休み)の短縮、土曜授業実施など効果的に組み合わせる。修学旅行については、今後の道内の感染状況を勘案し、徹底した感染防止対策を前提に実施に向けた考え方を早期に示す、旨の答弁がありました。日々、状況が変わる中で、道教委及び各市町村教委はじめ現場の教職員、保護者、子どもたちが皆で情報並びに意識の共有を推進し、どのような事態にも対応できる体制づくりを要請しました。

## 文教常任委員会道外調査 (1/28~31)

徳島県は、大塚国際美術館と県立板野支援学校(肢体不自由児養護学校小中高一貫教育)、福岡県は、福岡市博物館と九州国立博物館、大分県は別府市立東山幼/小/中学校などの義務教育及び芸術文化施設に関わる管理運営状況の調査研修に参加しました。このうち東山幼/小/中学校は全国的にも珍しい施設一体型の校舎で12年間に亘り連携一貫教育を実践、併せて小規模特任校制度を活用するなど地域と共に子供たちを育む姿がとても印象的でした。また文化施設では、展示方法はもとより収蔵資料の利・活用等に様々な工夫を凝らし、集客及び利用拡大に導く実践活動の現状を見聞き有意義な調査研修行でした。



## 手づくりマスクに知事もほっこり (3/27)

自民党女子大越農子道議と3人で、感染症対応に追われ心身ともにお疲れだろうと鈴木直道知事にエールを送るべくマスクをお渡ししました。この北海道柄の手作りマスクは植村真美道議作で知事も素晴らしい出来栄えにほっこり笑顔でした。

## 安定供給めざし 道・道教委へ要望 (5/28)

学校臨時休業に伴い、学校給食も長期間休止を余儀なくされ食材供給元は多大な影響を受けました。主食提供元の「北海道パン・米飯協同組合」による給食再開後の安定供給などに関わる知事及び教育長への要望書提出に際し、佐藤禎洋道議と同行しました。



## 医療従事者の皆様へ 広がる感謝の心 (6/2)

新型コロナウイルス感染症に関わる道内の医療従事者の皆様に感謝の気持ちをこめて、製紙会社のコアレックス道栄(株)社長小林昌志様から同社並びに社員ご一同様によります浄財が道に届けられました。

## 檜垣尚子北海道議会議員

北海道議会 ・ 議会運営委員会委員 ・ 文教委員会委員  
・ 少子高齢化対策特別委員会委員  
プロフィール 昭和45年3月5日札幌市中央区生まれ  
趣味：ヴァイオリン・ポーセリンアート等

## ひがき尚子政策事務所

〒064-0822 札幌市中央区北2条西24丁目1-14MIビル3F  
TEL 011-215-7372 FAX 011-215-7472  
E-mail : higaki.h35@gmail.com  
HP : <https://www.higakihisako.com/>  
FB : <https://www.facebook.com/higakihisako/>



🍷あとかき🍷 桜花爛漫喜び溢れる春の好日、ドームには歓声が、円山には躍動が、グラウンドには快音が響きませんでした。例年、ライラック祭りに始まり北のソーラン舞が群れ渡り、やがて一大ビアガーデンの店開きとなり内外からたくさんの人々が集い賑わう陽光眩しい夏の大通公園。静かすぎる景色は似合わない気がしてなりません。みんなの力ひとつに笑顔あふれる明日を取り戻しましょう。

